令和7年度 第1回学校運営協議会 会議録 (要点記録)

- 1 開催日時 令和7年4月21日(月) 13時45分から15時15分まで
- 2 開催場所 与進北小学校 ひだまり
- 3 出席委員 栗田 孝代、中根 その美、森田 良信、西村 進也
高杉 威一郎、由井 浩志、佐藤 元宏
石田 みゆき(学校支援コーディネーター)
田光 美智代(学校支援コーディネーター)
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 村田 弘貴(長上協働センター主事)
- 6 学校 中村 則和(校長)、山田 正典(教頭)、各務 哲人(CS担当)
瀧本 恵子(CSディレクター)
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 瀧本 恵子

9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、森田委員から栗田委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された栗田委員から、森田委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、栗田会長から中根委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1)令和7年度 学校教育活動の基本方針・学校いじめ防止基本方針について
- (2)その他
 - ①学校運営協議会の自己目標について
 - ②夢育やらまいか事業に対する意見書について

12 会議記録

司会の山田教頭から、委員全員が出席しており、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和7年度 学校教育活動の基本方針・学校いじめ防止基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校経営方針といじめ防止基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

①学校教育活動の基本方針について

- ・ あいさつを奨励するのは非常に良いこと。いろいろな関係はあいさつから生まれる。(森田委員)
- ・ P T Aもあいさつ運動をたくさん行ってくれる。地域の人でも自分の家の近くや職場の近くであいさつができるようになると良い。(石田委員)
- ・ 重点目標の「きたえ合う」にある「命の日」と「チャレンジ弁当」を知らなかったのを教えてほしい。(村田委員)

⇒ 「命の日」とは毎年6月12日頃に全校で命について考える活動。元は以前市内の中学生がいじめにより自殺をするということがあり、命について浜松市全体で考えようというところから現在につながっている。「チャレンジ弁当」は11月と2月に子供たちが自分で弁当を作って、昼にお互い見せ合って交流を持ちながら食べている。発達段階に応じて、例えば1年生はおかず1品から、6年生の2月には計画からお弁当作りまでを自分で行うことを目標にして取り組んでいる。チャレンジ弁当の日が近づくと、学校でも計画を立てる時間を設けたり、家でも練習で率先して手伝いをしたりと子供たちも前向きに取り組んでいる。「チャレンジ弁当」は浜松市内では本校だけがやっている。(各務教諭)

- ・ あいさつは1番大事だと思う。会社でも職員のあいさつの声小さくて高齢者に聞こえないと雰囲気が悪くなる。明るいあいさつは社会に出るためにも大事。(高杉委員)
- ・ 食育や食事のマナーは学校でどの程度行っているのか。外国の文化がたくさん入ってきて日本の文化が薄まってしまわないように、新しい職員に主菜の置き場所等配膳の指導をしている。小学校ではどうか。(高杉委員)

⇒ 学校では箸の持ち方が気になれば声を掛けるが、基本的には家庭での躰だと考えている。食べ方については主食・主菜・副菜を順番に食べる三角食べの話をし、栄養教諭が放送や各教室を回って子供たちに直接話をしている。担任は配膳後余っている給食を分けてから短い時間で食事をしすぐに片付けになるので、個に応じた丁寧な指導までは難しい。(各務教諭)

- ・ 学童の支援員と箸や鉛筆の持ち方が悪いという話になった。ひと昔前なら注意できたが、今は家庭で良しとしているとするとなかなか言いにくい。(高杉委員)
- 協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

②いじめ防止基本方針について

- ・ 仕事柄自殺現場等に行くことがある。自殺した子は線路に正座していたと聞いた。そういう度胸がある程追い詰められていたのか、なぜ周りが気付かなかったのかと

思った。なるべく早くいじめを見つけてあげたいし、早期発見が大事だと思う。

- ・ 昨年度のいじめの件数が 77 件というのは、それだけ細かいところまで見られているということ。(議長)
- ⇒ 全国的にいじめの認知件数は上がっている。学校としては細かいところまで認識して確実に対応していこうという現れだと思う。(校長)
- ・ 校内いじめ対策委員会で認定されると親に連絡は来るのか。(由井委員)
- ⇒ いじめ対策委員会で認知されると、加害・被害両方の家庭に連絡をして状況を説明している。(各務教諭)
- ・ 昔は喧嘩をして仲直りをして友情になったりしたため今は過敏な気もするが、SNSで仲間外れにされる等いろいろあって難しい。先生方も忙しいと思うが、学校で 10 のうち 5 とか 6 とか解決してもらえたらと思う。スポーツで気を紛らわすこともできるが、部活動もなくなったと聞いた。(佐藤委員)
- ・ 以前は紙のいじめアンケートがあったが今は手法が変わったのか。(栗田委員)
- ⇒ 今はパソコンに変わり、保護者に向けてもさくら連絡網で行う。(教頭)
- ・ さくら連絡網のアンケートの返答率はどれくらいなのか。(石田委員)
- ⇒ 数字で出しているわけではないが、およそ 8 割だと感じる。(各務教諭)
- ・ さくら連絡網は父と母両方に行っているのか。1 家庭か。(議長)
- ・ 両方入っている人もいるし、どちらかの家庭もある。(西村委員)
- ・ アンケートは 1 家庭で 1 回答か。(村田さん)
- ⇒ 1 回答。4 人まで登録でき 4 人回答してもカウントは 1。実際は複数の回答は来ていない。
- ・ いじめコーディネーターは各校にいるのか。(田光委員)
- ⇒ 各校に配置している。(各務教諭)
- ・ 先生がやっているのか。(村田さん)
- ⇒ はい。基本的には生徒指導主任になることが多い。規模が大きい学校だともう 1 人いる。(各務教諭)

(2) その他

①学校運営協議会の自己目標について

議長より、今年度の目標について説明があった。また議長の指示により、石田委員から追加の説明があり、全員異議なくこれを承認した。

②夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭より別途資料について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

教頭より、次回会議は授業参観を含め、6月23日(月)13時30分からひだまりで開催する旨の連絡があった。

校長より、来年度の開校50周年について連絡があった。開校50周年を迎え、記念行事を行えたらと考えている。地域の方にも相談に乗ってもらい意見ももらいたい。そこで今日集まっていた皆さんに実行委員会をやってもらいたい。運営協議会と実行委員会は別の活動となる。できるだけ学校で提案をして意見を伺う形にしたいと思っている。

栗田会長より意見の確認があり、全員承認した。